

No. 06 四季のおたより 【儚くも美しい桜の姿に、ふと頭をよぎること】



桜以外の花は、今回も万葉の森公園で撮影しました。

4 月初旬、当社敷地内の桜が満開を迎えました。一面に咲き誇る姿もさることながら、散りゆく際に見える桜吹雪まで、儚くも美しい情景で私たちを楽しませてくれました。桜の開花がつい先日のように思えますが、気が付けば梅雨、そして暑い夏の季節が間近に迫っています。今過ごしているこの時間も、恐らくあっという間に過ぎ去ってしまうでしょう。人間五十年、一瞬で駆け抜ける人生であればこそ、桜のように咲き誇り、散り際に至るまで輝き続けられるよう、過ごしていきたいものです。

No. 07 天星☆二都物語

Episode. 1 【 笛吹市のシンボル・「桃」の神秘のちから 】



山梨営業所がある 笛吹市の魅力をご紹介します！

桃の里・笛吹市

天星製油の山梨営業所がある山梨県笛吹市は、桃の生産量日本一を誇ります。桃の最大の栽培エリアである笛吹川対岸の扇状地は、毎年4月になると桃色の絨毯を敷き詰めたような光景が広がり、別世界の趣となります。笛吹市は桃の名所としてのブランディングに力を注いでおり、2013年には「日本一桃源郷」を宣言しました。

桃は不老長寿のシンボル

陶淵明の時代よりはるか昔から、中国では「西王母」という仙人の女王が信仰されていました。西王母は天界で、三千年に一度実をつける不老不死の桃（蟠桃）の果樹園を管理しているとされ、『西遊記』では、孫悟空がその桃を盗み食いして大騒ぎになる場面があります。

「リンゴ太郎」は微妙？

桃が主役の民話といえば、「桃太郎」。著名な神話学者の高木敏雄は、「なぜ〈梨太郎〉や〈林檎太郎〉では駄目なのか」と真剣に考察し、桃が「邪気を祓う霊果」「不老長寿の仙果」とされていたから成立した物語だと結論づけました。これくらいよいよ桃の匂。今年はおいしさだけでなく、神秘のパワーにも思いを馳せつつ味わってみませんか。

「桃源郷」の元ネタは？

「桃源郷」の原典は、5世紀の中国の詩人・陶淵明の『桃花源記』という作品です。山奥の桃林に迷い込んだ漁夫が奇妙な洞穴を通り抜けると、仙境のような平和な村に出て歓迎されました。いったん街に戻った漁夫は後日、道につけた目印を頼りに桃林を再訪しようとしたのですが、二度と辿りつくことはできなかったといひます。

日本でも桃は神秘の果物

日本においては、『古事記』で、国産み神話の主演イザナキ・イザナミの話に桃が登場します。冥界で再会した亡き妻イザナミの変わり果てた姿に逃げ出したイザナキは、生者の国との境界である黄泉比良坂（よもつひらさか）でイザナミの手下に迫られますが、生えていた桃の木の実を取って投げつけ、退散させることができました。イザナキは桃の功績を称え、「意富加牟豆美命（おおかむづみのみこと）」という神さまの名を与えたといひます。



< 発行 >

< HP >

天星製油株式会社

検索



〒434-0003 静岡県浜松市浜北区新原 3833-1 TEL: 053-586-9911 http://www.tenboshi.com/

天星Magazine vol.7 2022年6月号

天星 Magazine

[テンボシ マガジン]

vol.7

June 2022

No. 01 編集長キネのご近所探訪記 file#02

天星製油社員もファン多数！

「おいしい」の音がパワーの源



売れ筋 No.1！ 手づくりあんドーナツ

御菓子処 美甘堂 植村 省三 さん

1967年(昭和42年)生まれ。沼津の菓子店で職人の修業を積んだのち、二代目として「美甘堂」を継いでいます。



木根：天星製油本社のすぐ近くで、長年おいしいお菓子を作られている美甘堂さんにお邪魔しています。

植村：父の代からやっております、今年で創業58年目になります。

木根：店名の由来を教えてください。

植村：父が西ヶ崎のお菓子屋さんで修業していた時、裏のお寺の住職につけていただいたとのこと。

木根：ぴったりのお名前ですね。売れ筋はどのあたりでしょうか？

植村：近頃はあんドーナツや、どら焼きが人気ですね。GWの時期まで店頭で落雁がたくさん並んでいたのですが、端午の節句用のお土産に、ほとんど出てしまいました。

木根：お菓子で季節を感じるのはいいですね。

植村：これから夏にかけては、わらび餅と水まんじゅうが定番なので、店頭で揃うのをお楽しみに！

木根：天星製油が新原に移転してきたのが、2009年(平成21年)です。以来、先代会長や現在の社長を始め多くの社員が美甘堂さんのファンとして足繁く通っています。

植村：ご家族用の厄除け饅頭や節分のお菓子、永年勤続表彰の紅白饅頭など、いつもありがとうございます。木根：他のお客さんも、やはりご近所の常連の方が多いですか？

植村：そうですね。ただ、地場産のお店でうちのお菓子を見たのをきっかけに、遠方から何度も足を運んでくださるお客様もいて、嬉しいです。「おいしい」と言ってもらえるのが、一番の励みですから。

木根：天星製油の皆さん！ 私たちも美甘堂さんのおいしさを、つい当たり前だと思ってしまいがちですが、原点の感謝の言葉、忘れずに口にしていきたいと思います！



定番の名物「鹿玉もなか」と人気上昇中の「どら焼き」



天星製油の最新のニュースをお届けします！



編集長
キネ

はまはっぴー家族食堂に
寄贈を行いました。



このたび、星製油のSDGs（持続可能な開発目標）への取り組みの一環として、**浜松市浜北区の地域貢献団体・はまはっぴー様に食品の寄贈を行いました。**はまはっぴー様は、孤食の防止やフードロス削減などを目的として、**地域の方々が集まって団欒する「家族食堂」活動**を行っています。食を通じて地域の人々をつなげ、地域コミュニティの活性化へ尽力されるはまはっぴー様の姿勢に共感した天星製油も、微力ながら支援させていただき運びとなりました。現在、はまはっぴー家族食堂は新型コロナウイルス感染症の影響で活動を自粛されているとのことですが、再開された折には、皆さんもぜひ参加されてはいかがでしょうか。

山梨営業所を

ご紹介します！



天星製油は2011年（平成23年）より、**桃やワイナリーのメッカとして有名な山梨県笛吹市に営業所**を構え、山梨県全域および長野県などから廃油や産業廃棄物の回収事業を行っています。長らく3名体制で業務にあたってきましたが、このたび**新たに1名の配属が決定しました。**機動力をより強化することで、これまで以上にお客様の満足度を高めていけるように尽力いたします。また今回のvol.7より、巻末の新コーナー「天星★二都物語」を設けて、本社所在地の浜松市浜北区新原のみならず、営業所所在地の山梨県笛吹市の魅力についてもご紹介させていただきますので、是非ご覧ください！

No. 03 「旬」な天星スタッフご紹介！



川合 浩太郎
精製課

Q お仕事内容は？

再生重油の生産ラインを管理しています。最近では後輩も増えてきたので、任せられる業務は後輩に任せるようにして、私自身は業務の効率化や設備の改善などに力を入れています。



加藤 知也
山梨営業所

Q お仕事内容は？

タンクローリーや平ボディトラックなどで油の回収業務全般を行っています。富士山周辺の郡内地域が担当エリアの中心ですが、**回収範囲は長野県全域に及んでいます。**

Q 最近のトピックスは？

山梨営業所に初めての後輩が入社したことです。まだ知らないことばかりという段階なので、いろいろと教育をしていますが、これがなかなか難しい。彼にはこういった指導方法が合っているのか、私が伝えたいことを正確に理解してもらうためにはどのような表現を用いたら良いのか、などアウトプットの奥深さを痛感しています。**後輩だけではなく、自分自身も勉強の日々**となっています。（笑）

Q 最近のトピックスは？

昨年10月に第一子が生まれて、**現在子育ての真っ最中**です。初めての子なので、自身も妻も分からないことばかりで、毎日慌ただしく過ごしています。それでも不思議なことに、娘の笑顔を見ると大変さも吹き飛んで頑張れちゃいますね。

Q これからの抱負をお願いします！

より良い環境の未来を作っていくことですね。振り返ると、以前の自分は漫然と生活していた気がします。しかし娘が生まれたことで、「**この子が生きていく世の中を少しでも良くしてあげたい**」と、家族の将来への意識が高まりました。天星製油の事業は環境保全につながるの、現在の仕事を通して安心して暮らせる世の中を作ろう、頑張りたいと思います。

Q これからの抱負をお願いします！

「経験」に固執せず働いて行きたいです。経験を積み重ねること自体はもちろん大切ですが、それに頼り過ぎてしまうと、新しい考えや価値観が生まれづらくなると感じています。私も今年で37歳となり、世の中では中堅と呼ばれる年代ではありますが、**いつまでも初心を忘れず、柔軟な頭でいられるように意識して過ごしていこう**と思います。

前回、天星製油のオイルリサイクルは油の中から水分や金属を除去することだご紹介しました。「水と油」の喩えがある通り、水と油は混ざり合わない組み合わせの典型。ならば、油の中から水を取り除くなど簡単では？と思う方もいらっしゃるかもしれませんが、しかし、天星製油が回収している油の中には、**油と水分の間柄を取り持つ「添加剤」というものが含まれています。**これによって、本来は容易な水と油の分離が難しくなるのです。

ごく身近な添加剤の例として、「卵」が挙げられます。皆さんがいつも食卓で使うマヨネーズの材料には、**酢・食用油・卵黄が用いられています。**酢と油だけでは「水と油」の関係になるので、決して混ざり合うことはありません。しかし卵が添加剤として酢と油の間を取り持つことで、おなじみのマヨネーズとなるのです。

天星製油が回収する油はマヨネーズのようにペースト状ではありませんが、原理的には同様の現象が起きています。回収した油には約7～8%の水分が含まれており、これは一般的な油水分離設備では全く分離させることができません。

しかし天星製油では独自の技術を用いて、**リサイクル過程で水分量を1%未満となるまで分離、除去**しています。再生重油を取り扱う業界内で、コンスタントに水分量1%未満の製品を精製することができる企業は、天星製油を含めほんの一握り。**再生重油へのリサイクルで最も重要となる「油の中から水分を分離させる技術」**こそ、天星製油が誇るスゴ技なのです！



天星が所有する油水分離設備だからできる技！

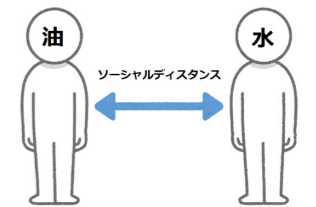
①分離が難しい状態



②天星の技術力で分離！



③別々に利用できる状態に！



No. 05 環境保全 Report 【2022年度のご挨拶と放流水の測定項目ご説明】

4月1日（金）、新原下善自治会の2022年度の三役の方々と、ご挨拶も兼ねて顔合わせを行いました。『天星 Magazine vol.6』へのご協力に感謝するとともに、今期も引き続き、**皆様との連携を密にしながら事業活動を行っていく**態勢について報告させていただきました。

また、弊社では環境保全協定に則り、放流水の測定を毎月実施しています。今回はその測定項目について、簡単に補足説明させていただきます。

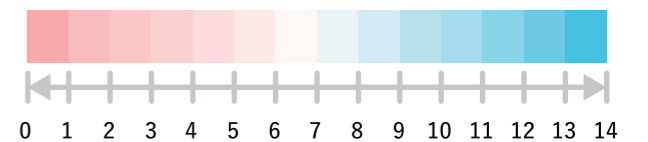
環境測定結果

項目	放流水
実施日	(2022.2～2022.4)
測定結果	○

Key Word

□ pH(水素イオン濃度)

水の性質を知る目安として、pH（水溶液中の水素イオンの濃度）が酸性、アルカリ性のどちらにも傾き過ぎていないことを確認しています。酸性あるいはアルカリ性のどちらかに傾き過ぎてしまうと、河川の生態系やコンクリート等の設備に悪影響を及ぼします。そのため、一定の基準の範囲で排水を管理することが大切です。



レモン→pH2.0



純水→pH7.0



洗剤→pH11